

東海大学医学部付属病院では、  
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して  
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。  
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

腫瘍組織標本の固定条件が免疫組織染色法および in situ hybridization 法による HER2 判定におよぼす影響に関する研究

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を癌を固定するために用いられる、固定液の違いが HER2 IHC および DISH 法によるタンパク発現および遺伝子増幅判定の結果に与える影響を比較検討します。

【研究の対象となる方】

2012年3月9日 から 2021年3月31日 までの間に、  
当院の乳腺内分泌外科で乳がんの手術を受けられ、「乳癌患者における遺伝子や蛋白質解析と  
予後や治療の反応性の解明」（研究番号11R-207）の臨床試験に参加されている方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2021年3月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・試料：手術時に採取して保存されている腫瘍組織、ならびに切除組織
- ・診療情報等：診断名、年齢、性別、乳がんのステージ

【情報の提供先・提供方法】

上記の試料・診療情報等を解析のために、共同研究機関である第一三共研究所へ郵送にて提供します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、第一三共株式会社との契約に基づく資金提供により実施されます。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：6211）

研究責任者・問い合わせ担当者 乳腺内分泌外科／診療科長 新倉 直樹